

令和2年度 技術科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ ICT機器の活用により、学習内容の定着と作業の安全を確実にすることができた。
- ・ 作業効率やより主体的な活動ができるようにすることができるように説明した。

(2) 課題

- ・ 来年度の新学習指導要領に向け、生活や社会から問題を見だし、課題を設定させる。
- ・ 調べる活動等を通して、何を、どのように学び、何が身につくかを考えさせること。
- ・ 主体的・対話的で深い学びにおいて、資質・能力を育成するために多様な学習活動を組み立てていくこと。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年 (2) 第2学年 (3) 第3学年 <共通事項>

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<p>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。</p> <p>学習内容を確認する機会を設けたり、互いに話し合い発表することで、対話力、表現力等を身につける。</p>	<p>生活や社会の中から技術に関わる問題を見出し、課題を設定し、解決策を構想し、図や文で表現し、作品製作を通して具体化する。</p> <p>活動を通して評価、改善するなど課題解決する方法をレポートなどにまとめる。</p>	<p>生活や社会で利用されている材料や加工方法、技術などについて基礎的な理解を図り、それらに係わる技能を身につけ、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。</p>	<p>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し、創造しようとすることを通じ実践的な態度を養う。</p> <p>また、自他評価カードなどを活用し、知識の定着を相互に確認・評価できるようにする。</p>